

①日本国特許庁 (JP)

②実用新案出願公開

③公開実用新案公報 (U) 昭63-33409

④Int.CI.*

G 01 B 11/26
F 02 B 77/08
F 02 D 35/00
G 01 D 5/36

識別記号

362

府内整理番号
Z-7625-2F
A-6624-3G
B-8011-3G
B-7905-2F

⑤公開 昭和63年(1988)3月3日

審査請求 有 (全3頁)

⑥考案の名称 回転角度検出装置

⑦実願 昭62-119981

⑧出願 昭57(1982)1月28日

前特許出願日援用

⑨考案者 池内正之 兵庫県姫路市千代田町840番地 三菱電機株式会社姫路製作所内

⑩出願人 三菱電機株式会社 東京都千代田区丸の内2丁目2番3号

⑪代理人 弁理士 大岩増雄 外2名

⑫実用新案登録請求の範囲

回転軸の回転角度を検出する二種類の信号を発生する回転角度検出装置において、回転軸に取付けられ、円周状に等間隔で複数個設けられた第1のスリットと、この第1のスリットのうちの一部の幅を他のものと円周方向に異させて形成された第2のスリットとを有する回転板と、この回転板の両側に上記スリットを介して相対向するよう配設された一対の発光部および受光部と、この受光部の出力を矩形波に整形する波形整形回路と、この波形整形回路の出力信号のみに基いて該出力信号のうち上記第2のスリットに対応した出力信号を上記第1のスリットに対応した出力信号から分離する信号分離回路を備えたことを特徴とする回転角度検出装置。

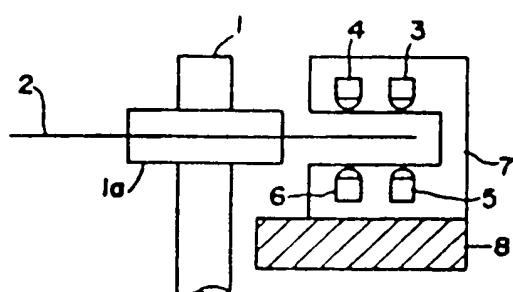
図面の簡単な説明

第1図は従来の回転角度検出装置の構成図、第

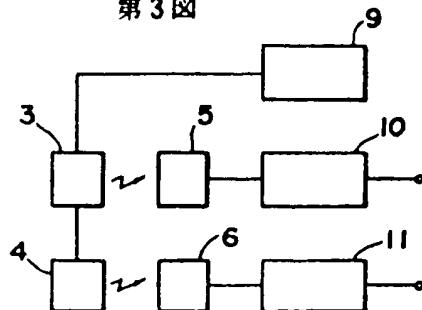
2図は従来の回転板の平面図、第3第4図は夫々従来の回転角度検出装置の回路図および各部の出力波形図、第5図はこの考案に係る回転角度検出装置の構成図、第6図はこの考案に係る回転板の平面図、第7図第8図は夫々この考案に係る回転角度検出装置の回路図および各部出力波形図である。

1……回転軸、3……発光素子、5……受光素子、10……波形整形回路、12……回転板、12a, 12b……スリット、14……信号分離回路、15……積分回路、16……リセット回路、17……比較回路、18, 21……AND回路、19……フリップフロップ回路、20……インバータ回路。なお、図中同一符号は同一または相当部分を示す。

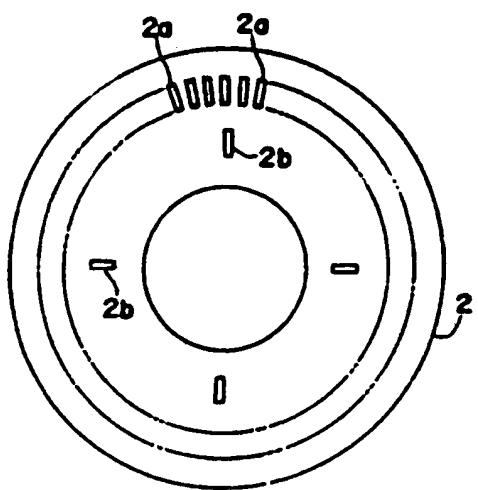
第1図



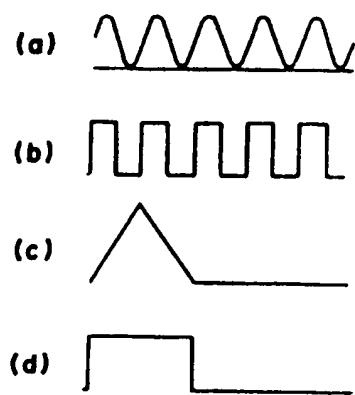
第3図



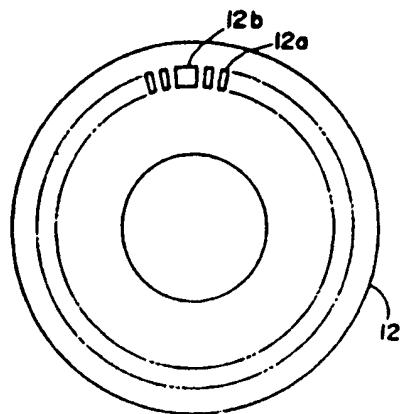
第2図



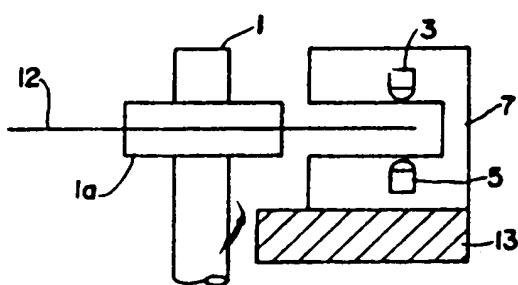
第4図



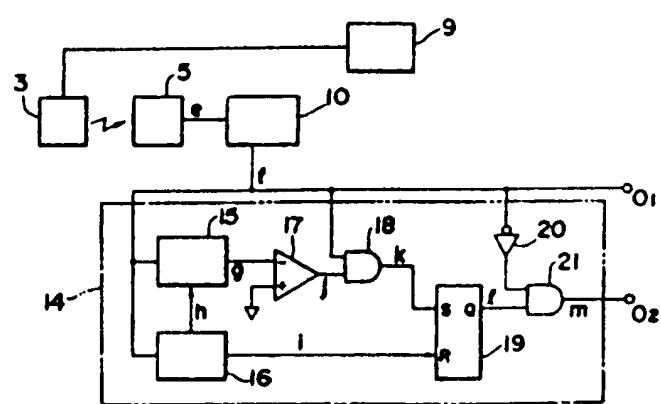
第6図



第5図



第7図



第8図

